

『撰集抄』研究文献目録

宇佐美 雅子

近 藤 みどり

佐々木 あやみ

凡 例

一 本目録は、明治三十七年十月より昭和五十三年五月までに刊行された「撰集抄」に関する文献を集めたものである。

一 文献は、発表年月の順に配列し、雑誌論文の場合は、論文名・執筆者名・誌名・巻号数・発行年月を記した。書籍の場合は、書名・関係章題名・編著者名・発行所名（或は文庫名）・発行年月を記した。

一 本目録は、岩波文庫『撰集抄』、『研究文献抄』を参照した他、中世文学会、説話文学会、全国大学国語国文学会等、学会誌所載の文献目録を参照した。

一 本目録は、昭和五十二年卒業論文に「撰集抄」を研究

課題とした表記三名が作製し、その調査に際しては、梶山女学園大学安田孝子、森瀬代士枝が協力、指導した。

○ 撰集抄序要釈 新井無二郎 国学院雑誌10 明37・10

・11

○ 『異本山家集』付載西行論 藤岡作太郎（本郷書院）明

39・10

○ 『鎌倉室町時代文学史』 藤岡作太郎（岩波書店）大4

・5

○ 『鎌倉時代文学新論』二 撰集抄 野村八良（明治書院）

大11・12

- 『撰集抄注釈』和田万吉（新型名著文庫） 昭2・9
- 撰集抄考 雨宮尚治 立命館文学2・2 昭10・2
- 『近古時代説話文学論』（7）撰集抄 野村八良（明治書院） 昭10・9
- 『古活字版之研究』川瀬一馬（安田文庫） 昭12・10
- 国文学書仏教典拠集抄・撰集抄 今津洪嶽・御橋恵言
- 歴史と国文学23 昭14・1
- 撰集抄に関する一考察——歌物語の検討と著作時代の考証を中心に——小林忠雄 国学院雑誌 昭15・9
- 『西行全集』撰集抄解題 久曾神昇（文明社） 昭16・2
- 『西行全集』西行伝 川田順（文明社） 昭16・2
- 土御門院御百首に関する覚書——一異本の紹介と撰集抄との交渉を中心に——小林忠雄 歴史と国文学25・2 昭16・8
- 撰集抄試論 平井卓郎 国語と国文学 昭16・10
- 撰集抄略本考——撰集抄の略本は一種の抄略本なるべし——小林忠雄 国語国文学研究6 昭17・1
- 撰集抄の構成資料について 上杉泰雄 東洋論纂 昭17
- 撰集抄板本管見——広本系統の板本六種に就いて——小林忠雄 国学院雑誌 昭18・8
- 撰集抄原本考 和田繁二郎 立命館大学論叢27 昭21・7
- 上田秋成と西行・上中下・自然観照史攷 小泉丹 倫理 49・1・2 昭23・12
- 『近古文学史論』説話文学 野村八良（明治書院） 昭27
- 『鎌倉文学史』撰集抄 古沢義則（東京堂） 昭27・4
- 撰集抄・通世者の宗教的考察 田村円澄 仏教文化研究3 昭29
- 説話の成長——撰集抄における随筆的発想——西尾光一 国語と国文学31・10 昭29・10
- 撰集抄の異本並びに作者攷 橋純孝 同朋学報創刊 昭30・7
- 近古小説硯破の成立に関する一考察——撰集抄略本の作成年代について——小林忠雄 国語国文 昭31・4
- 撰集抄の成立について——その年代と性格——今野達 国語国文25・12（268） 昭31・12
- 説話的発想の文学 西尾光一 国語と国文学 昭37・10
- 『中世説話文学論』『撰集抄』における評論的性格——説話の成長——西尾光一（塙書房） 昭38・3
- 『撰集抄』における「説話評論」 西尾光一 山梨大学学芸学部研究報告第16号 昭41・2
- 撰集抄における通世思想 伊藤博之 仏教文学研究第5集 昭42・5
- 『仏教と文学』 撰集抄 西田正好（桜楓社） 昭42

・9

○『往生伝の研究』往生について 今成元昭 (新読書社) 昭43・5

○『日本文芸の世界』西行仮托の説話評論 西尾光一 (桜楓社) 昭43・5

○西行的人間と西行好みの人間——撰集抄の仮托性——西尾光一 文学37・4 昭44・4

○『撰集抄』西尾光一 (岩波文庫) 昭45・1

○『日本文学資料叢書』説話文学における知足院閑白の地位 池田亀鑑 (有精堂) 昭45・3

○謡曲と撰集抄 川平均 古典遺産22 昭46・6

○撰集抄の『みそなはず』について 桜井光昭 説話文学研究6 昭47・2

○昔・中比・近比と過ぎにし比など——『撰集抄』の述主と作中時間—— 犬井善寿 説話4 昭47・12

○序のある文芸——撰集抄の位置—— 桑原博史 説話4 昭47・12

○撰集抄巻一第一話『増賀上人之事』をめぐる 稲垣泰一 説話4 昭47・12

○『日本の説話3 中世1』 撰集抄の世界 稲垣泰一 (東京美術) 昭48・1

○『撰集抄』一考察——遁世思想考—— 沼波政保 同

朋国文6 昭48・3

○『撰集抄』における遊女 沼波政保 松柏特集号 昭48・3

○「近衛本撰集抄」に於ける中世語法と近代語法の二重表現形式 西崎亨 解釈19・6 昭48・6

○撰集抄の「いまそかり」を中心に 桜井光昭 国文学研究51 昭48・10

○撰集抄の聞ユを中心に 桜井光昭 学術研究22 昭48・12

○撰集抄雑考——芭蕉への影響—— 星野喬 国学院雑誌75・2 昭49・2

○閑居友と撰集抄 吉田けい子 女子大国文73 昭49・6

○撰集抄における説話者の姿勢 杉本圭三郎 説話文学研究9 昭49・6

○「撰集抄」の特質 松下道夫 日本文学23 昭49・7

○撰集抄小考——成立及び作者と性格—— 森田宗男 伝承文学研究16 昭49・7

○「撰集抄」を論じて「白峰」に及ぶ——崇徳院をめぐる 松下道夫 日本文学研究40 昭49・11

○撰集抄の侍り 桜井光昭 国語学99 昭49・12

○『中世の文学』「閑居友」解説「撰集抄」との関係 美濃部重克 (三弥井書店) 昭49・12

- 『撰集抄』の信仰態度について——発心を中心に——
沼波政保 文芸論叢4 昭50・3
- 『撰集抄』における清僧意識 沼波政保 同朋国文9
昭51・3
- 中世のころ(3)西行(三)発心について(2) 桶谷秀昭
解釈と鑑賞 昭51・8
- 隠遁の思想的背景——中世仏教説話集成立の一基盤
——沼波政保 同朋大学論叢35 昭51・12
- 撰集抄の玄奘説話 森瀬代士枝 相山国文学1 昭52
・3
- 『撰集抄』形成私論 小島孝之 国語と国文学 昭52
・5
- 『撰集抄』△松平文庫本▽西尾光一編 解説 西尾光
一(古典文庫) 昭52・7
- 『撰集抄』△松平文庫本▽西尾光一編 松平文庫本の
- 書誌および用字について 安田孝子(古典文庫) 昭52・7
- 西行説話の基本構想——『撰集抄』から『西行物語』
へ——付関西大学図書館蔵『撰集抄』について 青木
晃 国文学54 昭52・9
- 『撰集抄』△嵯峨本▽吉田幸一(古典文庫) 昭52・9
- 『撰集抄』の方法覚え書 小島孝之 実践国文学12
昭52・10
- 中世仏教説話と摩訶止観——「隠遁の思想的背景」補
説——沼波政保 同朋国文11 昭和53・3
- 『撰集抄』形成私論(二)——卷八を中心にして——小
島孝之 実践紀要20 昭53・3
- 撰集抄雑考(二) 星野喬 国学院雑誌79・4 昭53・4
- 中世仏教説話の特異性 沼波政保 東海仏教23 昭53
・5